

coilにより動脈瘤の完全閉塞が得られた(計10本, 103 cm)。

〈経過〉塞栓術後, 新たな神経症状を認めず, 後日, 開頭による右内頸動脈瘤の根治術が行われ, 職場復帰となった。6か月後の時点で塞栓部位に変化は認められない。

### B-30) 破裂急性期に塞栓術を行なった脳底動脈前下小脳動脈分岐部動脈瘤の一例

菅原 孝行・関 博文  
近藤 健男・紺野 広 (岩手県立中央病  
院 脳神経外科)  
朴 水俊

(はじめに) 破裂脳動脈瘤治療の主目的は再破裂の防止であり, 動脈瘤の部位, 血行動態によっては開頭手術より coil embolization の方がより容易に治療できる症例がある。今回脳底動脈前下小脳動脈分岐部動脈瘤(BA-AICA)の一例を経験したので報告する。(症例) 59歳女性。H 9年1月15日, 建築現場で作業中に突然の頭痛にて発症した。入院時 H&K grade II, CT grade 2 (Fisher)。脳血管撮影で左総頸動脈は起始部で完全に閉塞していた。右総頸動脈写で外頸動脈閉塞, 内頸動脈起始部狭窄が認められた。左椎骨動脈写では脳底動脈の他に左外頸動脈, 左右内頸動脈系が造影された。右 AICA 起始部に neck 3 mm, body 6.5 × 6.0 mm で daughter aneurysm を有する動脈瘤を認めた。GDC を用いて瘤内塞栓術を試み, AICA を温存しつつ99%の閉塞ができた。術後経過良好で2週間後の血管撮影でも瘤への血流を認めなかった。(結論) 動脈瘤の治療にあたっては, 手術が困難な症例で, coil embolization の方が容易に治療できる場合があり, 開頭手術以外のオプションとして検討すべき手技と考えられた。

### B-31) GDC にて塞栓術を行った破裂脳動脈瘤の1剖検例

一走査電子顕微鏡による検討一

須田 良孝・菊地 顕次 (由利組合総合病  
院 脳神経外科)  
塩屋 齊・進藤健次郎

脳動脈瘤に対してプラチナコイルによる塞栓術が広く行われつつある。しかしこの治療法は動物実験では塞栓後の組織学的な検討がなされているが, 人体での報告例は極めて少ない。今回, 塞栓術後5か月目に死亡した剖検例を経験し, 走査電子顕微鏡所見が得られたので報告

する。症例は81歳女性。頭痛, CT で第4脳室内の血腫と CP angle cistern にうすい SAH を認め, 脳血管撮影で右 PICA distal に径約4 mm の囊状動脈瘤が描出された。発症5日目に H&K 2, WFNS 1 で塞栓術を施行し, GDC10 (3 × 6 mm) 1本で若干の dome filling を残して終了した。術後は神経症状なく, order に正確に答えていたが, 6日目に喀痰を気道に詰まらせて心停止に至った。蘇生後は高度な anoxic brain で, 寝たきりとなり5か月後に肺炎で死亡した。電顕では動脈瘤頸部がほぼ全面にわたり内皮細胞で覆われて母血管に移行していた。内皮細胞の境界が線状に隆起して個々の細胞が同定され, 核は微絨毛様突起が確認された。血栓の付着はなく, 極めて良好な再生内皮細胞の所見であった。

### B-32) 内頸動脈 C3-C2 部動脈瘤に対する GDC による瘤内塞栓術

阿部 博史・伊藤 靖  
玉谷 真一・熊谷 孝 (新潟大学  
脳神経外科)  
竹内 茂和・田中 隆一 (新潟市民病院  
脳神経外科)  
小池 哲雄

【はじめに】内頸動脈 C3部4例, C2部2例の未破裂動脈瘤に対して GDC による瘤内塞栓術を行ったのでその有用性について報告する。【症例】C3部の動脈瘤は全て内側後向きで, 大きさは 3-5 mm の small. 4例とも女性。C2部の動脈瘤は眼動脈分岐部 just distal の上向きで, 1例は small, もう1例は broad neck で large. 2例とも男性。全例全身麻酔下に, 先端を shaping した microcatheter を瘤内に誘導し, GDC10 と10 soft タイプを併用して塞栓した。Large size の broad neck 例では事前に内頸動脈の balloon occlusion test をした上で, 術中に assist balloon による neck plasty を行った。【結果】全例でほぼ完全な動脈瘤の閉塞が得られ, 合併症はみられなかった。Broad neck 例における neck plasty は, coil の内頸動脈内への突出の予防と瘤内の tight packing に有用であった。【結論】視神経, 前床突起, 海綿静脈洞に囲まれた解剖学的特殊性によりその直達術が必ずしも容易ではない内頸動脈 C3-C2 部動脈瘤は, GDC による瘤内塞栓術のよい適応の1つである。